

## みんなが力を出し合って創ったささえあいの家 2 年の歴史

「ささえあいのお家の 2 年」を振り返るためのアンケート

対象：ささえあいのお家の当番・営繕の会・各種講師 51 人から回収  
2016.2.20 実施

I 以下の質問にそう思う人は○を打ってください

- ① ささえあいのお家は、自分の地域デビューの場となった 41  
そう思う 41
- ② ささえあいのお家は、自分にとって地域での居場所の一つとなった 40  
そう思う 40
- ③ ささえあいのお家で親しくなった人がいる 50  
そう思う 50
- ④ ささえあいのお家によって、この地に愛着が今までより持てるようになった 42  
そう思う 42
- ⑤ ささえあいのお家の活動によって、考え方の違う人とも折り合いをつけていくことを学んでいる 47
- ⑥ ささえあいのお家で、気になる人の情報共有ができて、適切な支援ができるようになった 37
- ⑦ ささえあいのお家ができることによって、八木山校区で、支え合いの輪が広がっていると感じる 45

★その他ささえあいのお家ができることで、自分や地域が変わったと思うことを書いてください。

- ・地域の力が発揮できる場となってきた。ささえあいのお家が充実してきた。
- ・ささえあいのお家に関わるようになって、オーバーかもしれないけれど、世界が広がった。やれることしかできないけれど、これからも少しでも力になればいいかなと思っている。
- ・安心して暮らしていくことができる。
- ・以前から地域活動やボランティア活動にいろいろ関わっているが、ささえあいのお家できて出会った人も多く、また皆さんと親しくなり気心が知れて本音で話ができる人が増えて、本当に絆が深まったということを実感している。
- ・今後何か困ったことがあっても「助けて」と言える仲間ができたと思う。
- ・ここに来ると心が温かく感じて、とっても良い場所だと思う。
- ・私自身地域の人たちと親しくなれた。
- ・コミュニケーションの広がりを感じている。
- ・ご近所の会合などでふれあいセンターが使用できない時、利用することができる。ちょっと集まろうという時も利用しやすくなった。
- ・地域の知らない人と話ができるようになった。

- 地域の人とふれあいの場がありいいと思う。
- 今まで地域への参加がほとんどない状態だったが、おかげで多くの人と知り合うことができた。そしてささえあいに関わる皆様からパワーをもらい、これからも続けていけたらいいと思っている。
- 色々とお話する機会が増し、自分自身にとって良い場となった。周囲は多彩の方が多く素晴らしいと思うが、自分自身のスタイルは崩したくないと思っている。無理なく続けられたらと思う。
- 出来るときに、ボランティア当番を始めたが、平日以外の行事や当番以外の仕事が、次から次に増えている状態で、ボランティアとして協力することが難しくなってきた。
- 他の場面でも助け合いの気持ちが出ているようになっている。  
発達障害を知ろうと言う講演会後のアンケートでも、みんなで助け合って生きていこうと言う意味の回答が多かった。
- 自分から行政の窓口へ申請や相談に行くのがいきなりではなく、話を聞いてもらって、ある程度の道筋が見えてくる気軽な場所になっていると思う。
- ふれあいバスや、移動スーパーなど、一人一人の願いが集約されて、「地域の人々の要望」として機能できるまとまりのあるまちになった。。
- 松が丘の端の人と、つつじが丘の端の人とでは、同一地域でも接点がないが、ここで活動したり出入りしたりするうちに顔が広がる。スーパーで顔を合わせて話す知り合いが増えて、だらだらの部屋着など変な格好で買い物に行けなくなり、いい意味の生活の緊張感が生まれた。
- 自分のためとの思いで楽しくお手伝いができている。
- つつじが丘、松が丘の共通の場ができたこと、第1歩が踏み出せたこと

## ささえあいの家 2周年記念懇談会 2016.2.20

松井運営委員長

みんなの力を結集して今日があります。みんなの力でささえあいの家は高度を飛行していると言えます。これからも支えたつもりが支えられてやっていきましょう。元気・根気・陽気・やる気・時に強気でいきましょう。  
ここにいるみなさんに、さらに新しい仲間も加えて 3周年を迎えたいものです。

### ささえあいの家への参加動機と参加して思ったことを語り合う

立元：今、足を悪くして活動できていないが。大工が大好きで何でもやります。ささえあいの家のフローリング工事もやらせてもらいました。

困ったことがある人があったら、我々で助け合っていたらいいと思っています。

見違えるような家にしたが、これは一人の力ではなく、みんなの力でできたことです。まち全体が助け合っていきたい。

坂道をしんどいと思う人がいます。楽にここへも来られるようにしたら、もっと多くの人利用があるだろうと思います。

水戸部：行けばいつでもお茶をどうぞと言ってもらえ、温かいところです。相談も聞いてもらえます。聞いてもらうと心が開けると思います。ずっと今までどおり温かい場所として、続けていけばいいと思います。

太田：「いつもいられる場所があるといい、福祉活動の拠点があるといい」と言っていたら、ささえあいの家としてできました。  
少しずつ、わずかな時間を割いて、互いに支え合っていけたらいいと思います。敷居が高いと言う人がまだいます。気軽に寄れる場所になるといいと思います。

大前：友達と話せるので参加しました。今まで知らなかったつつじが丘のこともよくわかりました。  
松が丘 1 丁目からは遠いです。近所の人を誘っても、遠いからねえと言われます。早く松が丘からも来られるようにしたらいいと思います。

大澤：営繕の会の仲間になりました。動機は去年役員をやってつながりができたからです。歳を取ると電球一つ変えるにも苦労すると思います。助け合ったらいいと思います。

山下：立ちあがる時から関わっていました。立ち上げには大変なことがありました。エネルギーとパワーとやる気があってできました。  
当時の人たちにありがとうと言いたいです。

大竹：電気工事をやっていたので、生活支援ボランティアに応募して以来関わっています。ちょっとしたことでも役だったなあと思えます。自分は 45 歳です。これくらいの年代の人を誘いたいと思います。

名知：私でもできることがある。ちょっとできると思って入会させていただきました。只ここへ来るだけでくたびれる体ですが。

佐藤玄：自然の会には職人並みの人がいっぱいいます。その人たちを引き連れて、営繕の会に入っています。道具もそろっています。匠の技ができる人がいます。  
地域のお助け隊もやっています。

小谷：私は高齢でボランティアしてもらいたい方ですが、五体満足なのだから、する方にも廻らないといけないと思って、パソコン相談を担当しています。最近囲碁でお手伝いをと、講座も始めました。  
ボランティアは天に貯金することだと思います。

山田：この 2 年間早かったです。今後は同じ思いの仲間を増やすことが、この家を存続させていくためにとっても大切なことではないかと考えています。ボランティアは差し出せる時間と余裕があってできることなので、お互いに保険を掛けあ

う意味で、マンパワーの充実を図らないと先細りになると思いますので。

近藤：パソコンの勉強を楽しみにして来ていただける方がたと、交流できて、私も楽しく参加させてもらっております。2年を経過、53回を欠席することなく、務めさせていただきました。いつまで、できるかわかりませんが、今後ともよろしく願い申し上げます。

### 「今後もっとこうしたらどうだろうか」をグループで話し合う

#### ・開館時間を長く

夏には4時頃まで開館したら。

子どもが来られるように午後を長くする、

春休み、夏休み、冬休み低学年との交流、

子育ての相談、子どもの基礎学力の支援

未就園児を預かってはどうか、小学校と連携し子どもを預かってはどうか

#### ・送迎用の車が欲しい。

高齢者の送迎

#### ・食事ができるように

料理やお菓子づくり、講習ではなく皆でワイワイやる

料理自慢の人の講座、孤食の人の昼食会、

夏休みなどに菓子パンだけで過ごすような子に子ども食堂を

夜、地域の飲み会を

#### ・コープの注文を皆で集まってできたらよい

#### ・歌声 月一回歌を歌う会、演奏なしでも・・・

#### ・グローバルなささえあいの家

今回のような災害時に募金活動を

#### ・ トマト、なす、キュウリ等作物づくりの講習を、

#### ・営繕の会で道具の使い方等講習会

#### ・老前整理の仕方講習会

#### ・今日の出席のスタッフのスキル・特技を他の団体に出前的に提供する。

#### ・全てのボランティアの拠点にしよう

#### ・道具や乗り物のシェアリング

#### ・子育て世代の交流の場に

#### ・ささえる側とささえられる側を区別しないお互いさま

今後は、もっと  
こうしたいと  
グループの発表

